

産業建設常任委員会報告

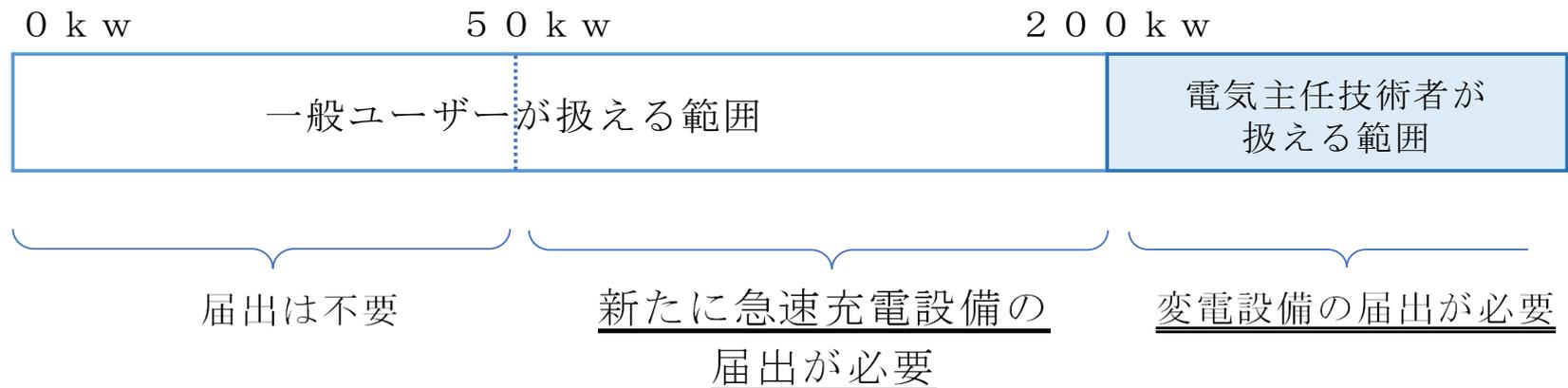
- ・ 12月議会における議案審査から
議案第164号 宝塚市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 宝塚市消防体制について

資料 1 急速充電設備について

【現行の急速充電設備に関する規制】



【改正後の急速充電設備に関する規制】



急速充電設備について

- 50kw以下の急速充電設備は、現行も改正後も届出不要。
- 改正後は50kwを超え、200kw以下の急速充電設備を設置する際には、新たに消防本部又は消防署への届出が必要。（改正後の第54条第1項第13号）
- 現行では、50kwを超えるもの、改正後は200kwを超える急速充電設備は、変電設備の届出が必要。変電設備の届出が必要な急速充電設備は、一般ユーザーが給電作業を行うことはできないことになっており、電気主任技術者による給電作業が必要である。

急速充電設備について

一般ユーザーによって給電作業を行える充電設備の出力が、現行の上限50kwから、改正後は上限200kwまで拡大されることに伴い、以下のような安全対策が条例に追加された。

- ① コネクタの転落防止措置
- ② 冷却液の漏れ対策
- ③ 開閉器の安全対策
- ④ 蓄電池の安全対策
- ⑤ 制御機能の安全対策

急速充電設備について



急速充電設備の周辺環境

急速充電設備について



急速充電設備の外観

急速充電設備について



急速充電設備のコネクター

宝塚市の 消防体制について

目次

- 1 宝塚市の消防の概要
- 2 宝塚市の消防車両
- 3 緊急消防援助隊

1 宝塚市の消防の概要



●消防本部の概要

組織体制：1本部 2署 7出張所

条例定数：260名

職員実数：244名（R2.4.1）

保有車両：消防車31台、救急車8台、
その他の車両4台 合計43台

●消防団の概要

組織体制：1団本部 10分団 機能別消防分団

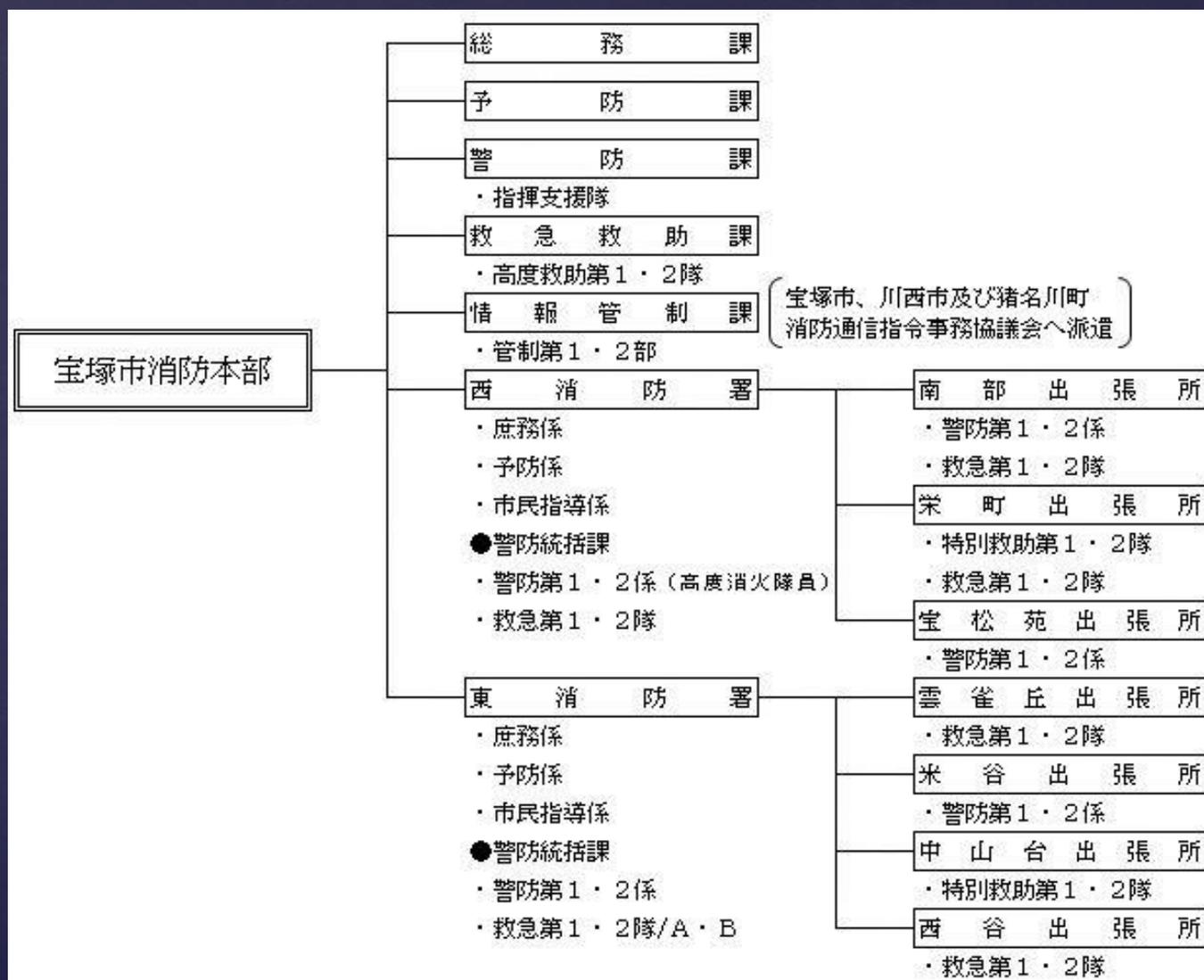
条例定数：200名

団員実数（基本団員）：181名（R2.7.1）

機能別消防団員：6名（R2.7.1）

保有車両：ポンプ車5台、ポンプ積載
車7台、指揮車1台 合計13台

●消防本部の組織図

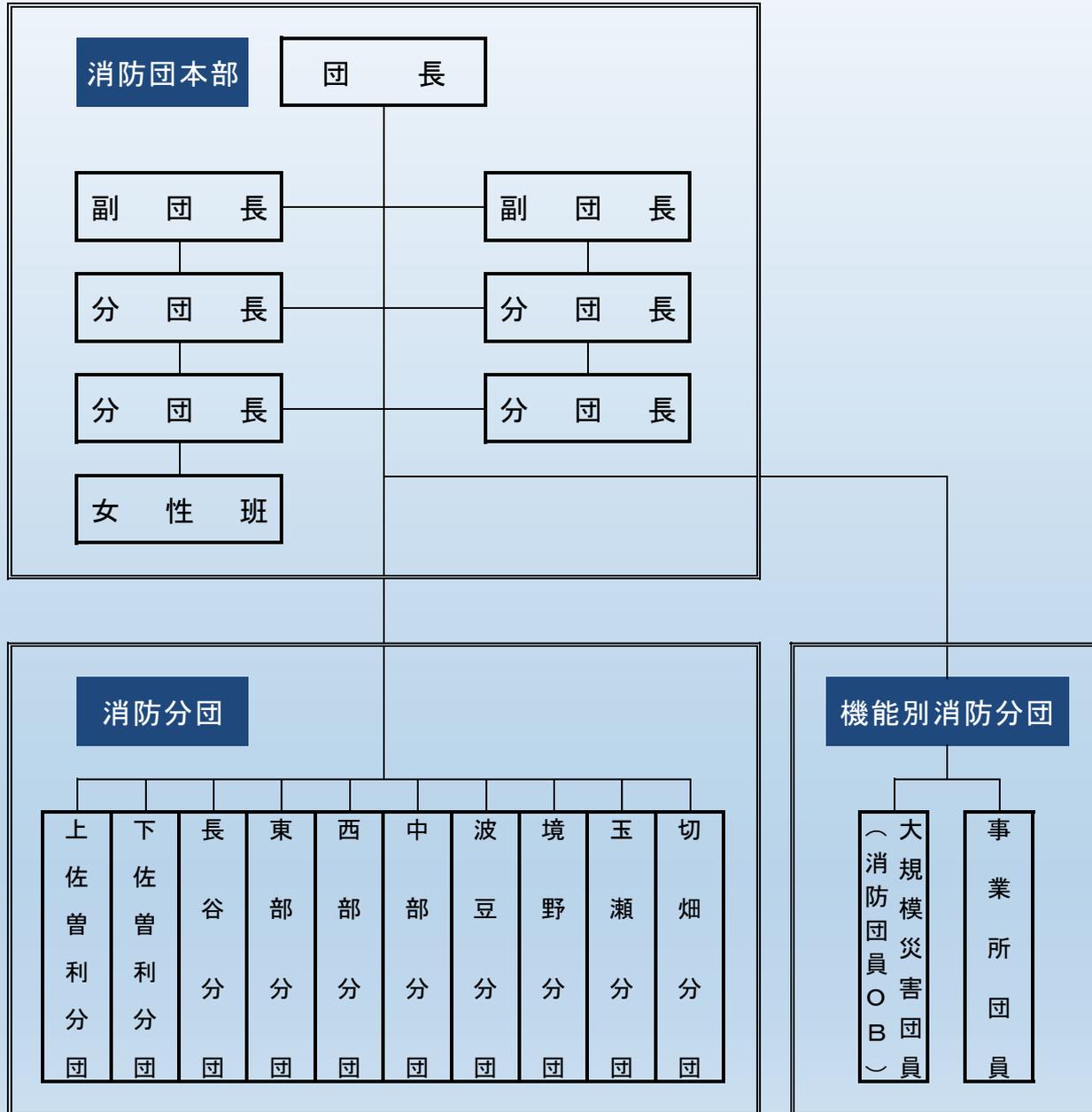


●本部・署所の配置

- ①消防本部・西消防署
- ②南部出張所
- ③栄町出張所
- ④宝松苑出張所
- ⑤東消防署
- ⑥雲雀丘出張所
- ⑦米谷出張所
- ⑧中山台出張所
- ⑨西谷出張所



●消防団の組織図



●消防分団の配置

- ①消防団本部
- ②上佐曽利分団
- ③下佐曽利分団
- ④長谷分団
- ⑤東部分団
- ⑥西部分団
- ⑦中部分団
- ⑧波豆分団
- ⑨境野分団
- ⑩玉瀬分団
- ⑪切畑分団



2 宝塚市の消防車両



ポンプ車



救助工作車



はしご車



救急車

○消防ポンプ自動車は、消防ポンプを積載し、消火活動ができる車両です。予備車両を含めて14台を運用しています。

○救助工作車は2台を運用しており、クレーンやウインチを始め、各種の救助資機材を積載し、救助活動に出動します。

○救急車には各種の救命処置用資機材を積載しており、予備車両を含め8台で令和元年の出動件数は、12,122件でした。

○はしご車は2台を運用しています。令和2年度に更新中のはしご車については、35メートルの先端が屈折するタイプのはしごを搭載しています。

このことによって、障害物を避けて活動することができます。

○その他の様々な車両を含め、39台の緊急車両を適正に管理しながら運用しています。

令和2年度に更新中の消防はしご自動車です。
令和2年12月22日現在の製作状況です。製作途中であるため、宝塚市の名称などは入っていません。



○製作中のはしご車は35メートルの屈折式はしごを搭載しています。

このことにより、障害物を避けながら救出活動や放水活動を実施することができます。

その他にも多くの機能が備わっており、災害出動に備えます。



3 緊急消防援助隊



●緊急消防援助隊とは

緊急消防援助隊は、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、大規模災害等において被災した都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、平成7年6月に創設されました。

令和2年4月1日現在、全国の消防機関から6,441隊が登録されており、本市は10隊を登録しています。

●緊急消防援助隊登録車両

宝塚市は次の車両を登録しています。
また、いくつかの活動実績をご紹介します。



化学車・ポンプ車



後方支援車



救助工作車



震災対策特殊車両



救急車

● 東北地方太平洋沖地震 (H23.3)



●熊本地震 (H28.4)



● 広島豪雨 (H30.7)



● 広島豪雨 (H30.7)



産業建設常任委員会の委員会メンバー



今後ともよろしくお願いいたします